

# 新型コロナウイルス感染拡大と 企業救済策

東京大学政策評価研究教育センター

東京大学大学院経済学研究科 星岳雄

東京大学大学院経済学研究科/公共政策大学院 川口大司

東京大学大学院経済学研究科/公共政策大学院 植田健一

2021年2月17日開催のウェビナー「新型コロナウイルスが経済に与える影響」を開催させていただきました。その際の発表資料において「政策金融公庫による特別貸付制度」への申し込みに関してプログラムミスにより申し込み数が実態よりも大きな数字となっております。お詫びして修正させていただきます。修正箇所は4ページ目の政策金融公庫による特別貸付制度（コロナ特融）の申し込みに関する数字と8ページ目左上のグラフです。

# 問題意識

- コロナ感染症による企業への打撃を和らげるために、政府は数々の支援策
- 倒産の数を減らし、雇用維持に役立っているかもしれない
- 一方で、必要とされる事業再構築や業態転換を妨げるような悪影響も懸念される
- コロナ以前からもそもそも事業再構築などが必要であるにも関わらず、様々な支援策によって生きながらえてきた企業（いわゆるゾンビ企業）を助けている可能性
- この研究では、企業に対する様々な支援策がどのような企業に向かっているのかをCREPE-TSR調査の結果を使って検証する

# CREPE-TSRコロナ影響に関する共同調査

- 2020年10月26日（月）～11月6日（金）
- TSRメルマガ購読者対象 配信：158,264社 回収： 5,695社
- 2019年末TSR企業情報ファイルとのマッチング可能 4,093社
- 質問項目
  - 2019年時点・緊急事態宣言中のテレワーク実施状況
  - 2-9月の前年同月比売り上げ、従業員数、労働時間
  - 各種政策的補助や融資への申し込み・諾否・金額

# 各種支援への申し込み

支援策ならびに特別貸付制度への申し込みと承認	申し込み	承認
雇用調整助成金	0.256	0.215
持続化給付金	0.243	0.212
家賃補助	0.101	0.065
政策金融公庫による特別貸付制度（コロナ特融）	0.156	0.138
商工中金による特別貸付制度（危機対応融資）	0.056	0.044
民間金融機関による特別貸付制度（信用保証付き融資）	0.253	0.228

雇用調整助成金、持続化給付金、家賃補助といった政策については申し込むと承認される確率が高い  
商工中金による特別貸付に申し込んだ企業は限定的だが申し込んだ企業の多くは承認された  
民間金融機関の特別貸付には約1/4の企業が申し込みほぼ承認されている

# サンプル企業の特徴と売り上げショック

---

	平均	標準偏差
2019年12月の状況		
評点 (低 0.2 – 高 0.8)	0.543	0.067
従業員数	161.237	2957.432
売上の前年同月比		
2月	-0.002	0.288
3月	-0.021	0.307
4月	-0.099	0.342
5月	-0.141	0.345
6月	-0.090	0.332
7月	-0.090	0.316
8月	-0.087	0.314
9月	-0.076	0.306
2-9月の最小値	-0.305	0.302

---

# 評点について

---

経営者能力 [ 20点 ] 資産担保余力 経営姿勢 事業経験	成長性 [25点] 売上高伸長性 利益伸長性 商品市場性	安定性 [ 45点 ] 業歴・自己資本 決済状況・金融取引 担保余力・取引関係	公開性・総合世評 [10点] 資料公開状況 総合世評	合計 [100点]	1.警戒不要 80～100点 2.無難 65～79点 3.多少注意 50～64点 4.一応警戒 30～49点 5.警戒 29点以下
--	--	---	-------------------------------------	--------------	---

---

出典：東京商工リサーチホームページ

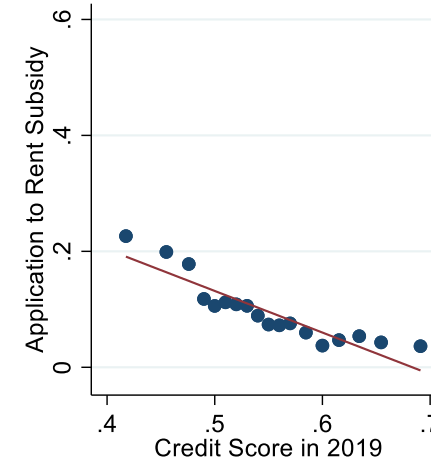
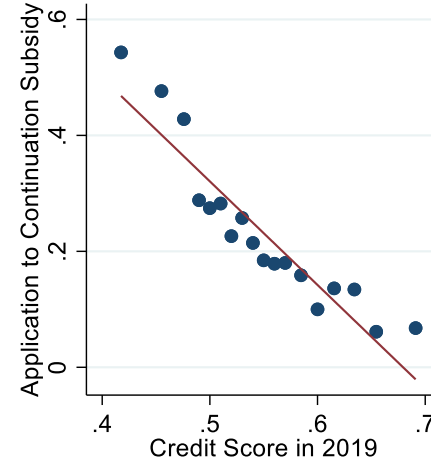
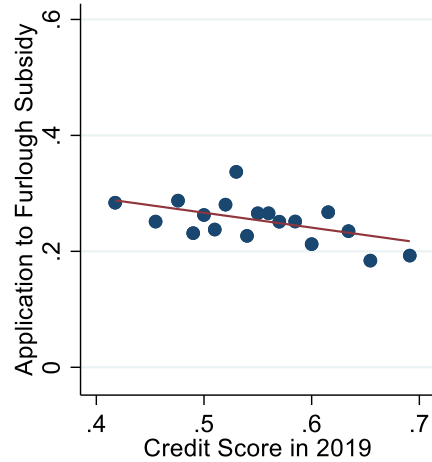
# 評点と支援策への申し込み・承認

雇用調整助成金

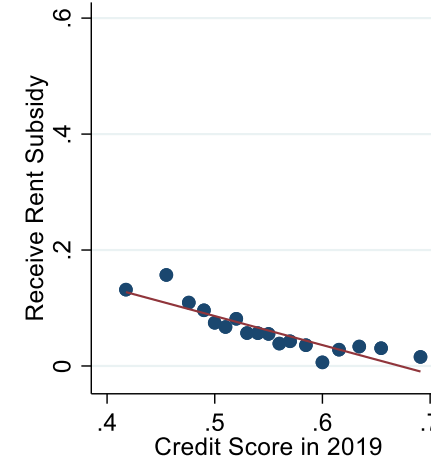
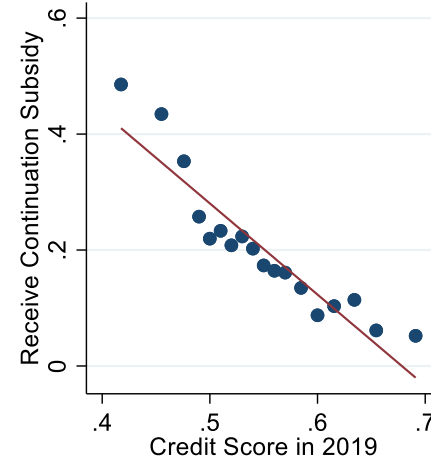
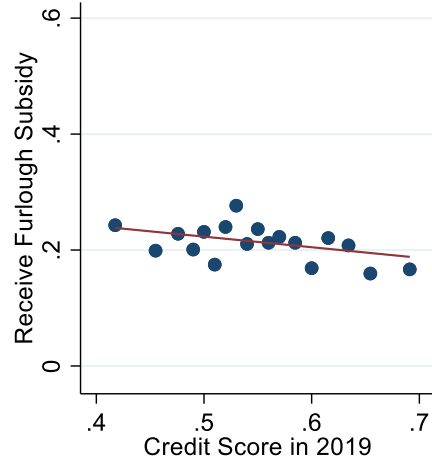
持続化給付金

家賃補助金

申し込み



承認



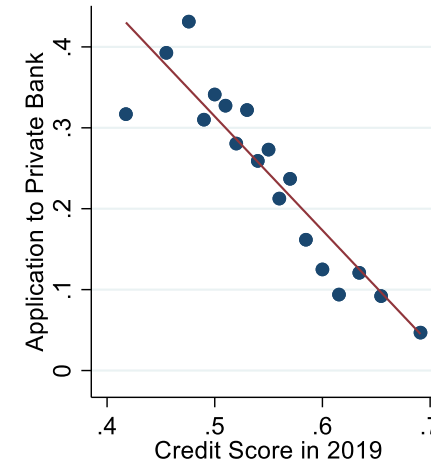
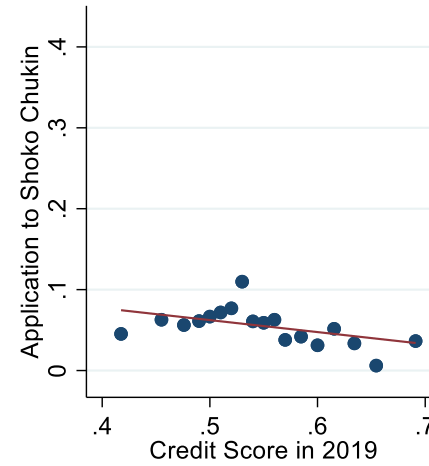
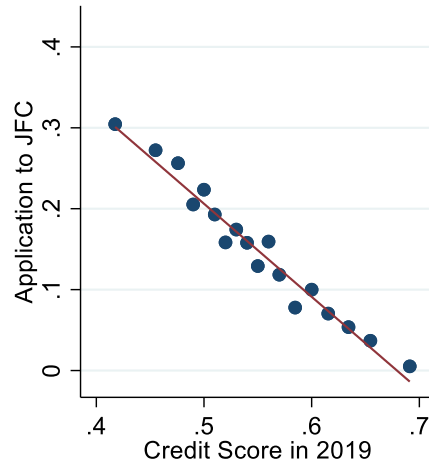
# 評点と特別貸付への申し込み・承認

政策金融公庫

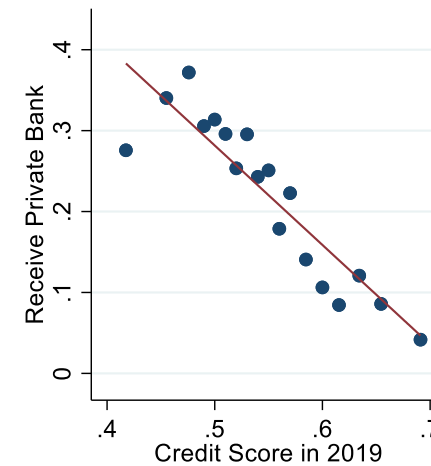
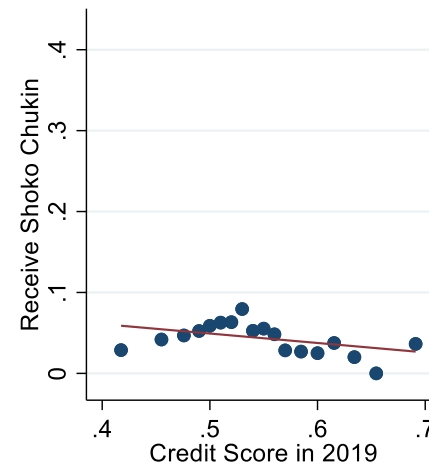
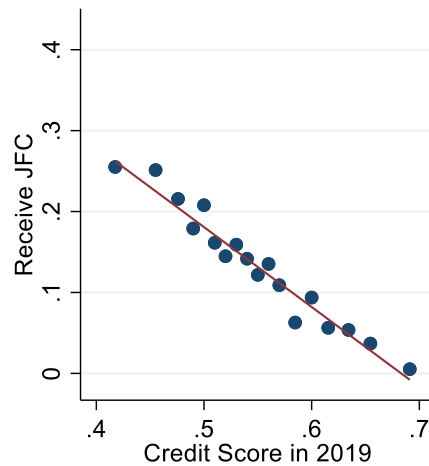
商工中金

民間金融機関

申し込み



承認





# 多重回帰の推定結果

- TSR評点の高低も各支援策への申込・承認も、コロナショックの大きさ、規模、産業、地域と相関している可能性がある
- 2020年2月以降の売り上げ減、企業規模、産業、都道府県などをコントロール
- 結果はほぼ変わらず
- TSR評点が0.1（10点）低いと
  - 持続化給付金の承認確率が2%ポイント上がる
  - 日本政策金融公庫からの特別貸付の承認確率が5%ポイント上がる
  - 商工中金からの特別貸付の承認確率が3%ポイント上がる
  - 民間金融機関の特別貸付の承認確率が7%ポイント上がる

# まとめ

- 新型コロナウイルスの感染拡大の企業経営への悪影響を緩和するため、政府は数々の企業支援策を行っている
- これらの政策的支援は、もともと財務状況や業績が悪かった企業に向かっている
- この現象は、政策的支援の対象となりやすかった企業（強い売り上げショックを受けた企業、小規模な企業、感染症の影響を強く受けた産業・地域の企業）に、たまたまコロナ以前から財務状況や業績が悪い企業が多かったということでは、説明できない
- 政策支援はすでに「過剰」である可能性
- この中長期的な帰結を考慮に入れた政策対応が必要とされる